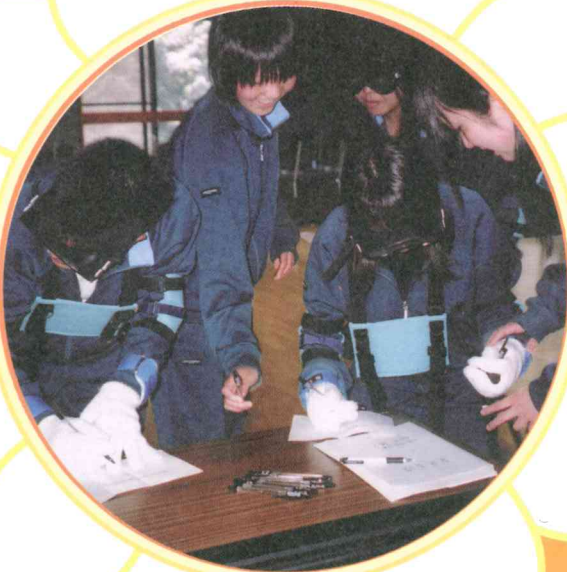


NO.6

平成17年7月5日発行



吉城高校福祉体験
(インスタントシニア体験)



吉城高校福祉体験
(車椅子体験)

主な内容

- 平成16年度事業報告……………2～3
- 平成16年度決算書・ご寄付御礼……………4
- ボランティア講演会・無料法律相談……………5
- トピックス……………6～7
- 会費のお願い……………8



5月16日 くちなしの会
(給食サービス)

平成16年度 社会福祉法人 飛騨市社会福祉協議会事業報告



合併して1年間、これまでの各町村社協の事業を継続しながら、特に、介護保険事業を中心に展開していた河合、宮川地区においても同様に福祉サービス事業が展開できるよう努力してきました。その上で、特に給食サービス事業は、河合町は飛まわり会に、宮川町ではあじさいの会という新しい給食サービスの団体を組織して事業を実施できました。神岡地区の毎週ということにほど遠いですが、少しでも各地区における提供回数を増やすことができるよう努力していきたくて考えています。

また、「健康と福祉のつどい」及び「福祉のつどい」においては、全市的に各学校の児童・生徒の福祉に関する意見・標語の発表をしていただきました。夏休みに全小中高等学校を対象に実施したワークキャンプに参加しての感想をまとめた内容が多く、児童・生徒に対する福祉の体験事業の重要性を改めて感じました。



今後、合併2年目を迎え、より充実した福祉サービスの提供ができ、『誰もが住み慣れた地域で安心した生活を送ることができる』よう市民皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

■ 会議の開催状況

- 社会福祉協議会理事会6回（4月7日、5月11日、7月1日、12月15日、2月4日、3月23日）
- 社会福祉協議会評議員会 2回（5月25日、3月23日）
- 平成15年度旧4町村分社会福祉協議会監査
- 平成15年度3月分飛騨市社会福祉協議会監査
- サービス担当者会議（神岡地区 45回）
- 実務者会議（古川地区 41回）
- 実務者会議（宮川地区 12回）
- 古川地区給食サービス打ち合わせ会議
- 神岡地区地域ケア調整会議（10回）
- 古川地区ボランティア連絡会（5回）
- 河合地区地域ケア会議（12回）
- 福祉教育協力校事業打ち合わせ会議（古川、河合、宮川地区）
- 河合地区介護者の会総会
- 在宅支援ヘルパー会議（神岡地区 12回）
- 宮川地区給食サービス打ち合わせ会議（2回）
- 河合町ボランティア団体打ち合わせ
- 飛騨市結婚相談所運営委員会（3回）
- 岐阜県共同募金会飛騨市支会理事会 3回（5月11日、12月15日、3月23日）
- 地域福祉推進事業打ち合わせ会議（古川地区）
- 地域福祉推進事業反省会議（古川地区）
- 福祉協力校事業打ち合わせ会議（神岡地区）
- 福祉協力校事業反省会議（神岡地区）
- 地域福祉推進事業打ち合わせ会議（神岡地区）
- 生きがいデイサービス事業打ち合わせ会議（神岡地区 3回）

- 神岡地区配食ボランティア会議
- 災害ボランティアに関する学習会
- 福祉協力校反省会議（古川、河合、宮川地区）
- 古川、河合地区給食サービス反省会議
- 宮川地区給食サービス反省会議
- ふれあいのまちづくり推進会議
- 各地区における地域福祉推進事業（古川地区 43行政区）



■ 事業報告

- 近隣見守りネットワークブロック別研修会（神岡地区 10地区公民館）
- 食事サービス（神岡地区 なずな会 46回）
- 給食サービス（古川地区 くちなしの会7回、飛まわり会4回、古川栄養士会3回、給食センター3回、南古城調理師会1回、あいの会2回）
- 給食サービス（河合地区 飛まわり会8回、南古城調理師会2回）
- 給食サービス（宮川地区 あじさいの会4回、南古城調理師会2回、あいの会1回）
- ふれあい交流会17名参加（くちなしの会）



- ワークキャンプ事前説明会（各小中高校対象 6回）
- ワークキャンプ
古川小 7名（和光園）、古川中 4名（古川デイサービス）、古川西小 7名（さくらの郷）、河合小 3名（河合デイサービス）、河合中 3名（河合デイサービス）、宮川小 2名（宮川デイサービス）、宮川中 3名（宮川デイサービス）、山田小 3名（たんぼぼ苑）、山之村小中学校 3名（たんぼぼ苑）、神岡西小学校 3名（旭ヶ丘デイ）、神岡東小学校 2名（たんぼぼ苑）、神岡中学校 3名（旭ヶ丘デイ）、飛騨神岡高校 3名（旭ヶ丘デイ）、吉城高校 3名（飛騨寿楽苑）
- ゆうゆう旅行（70歳以上一人暮らし高齢者親睦旅行） 静岡県 浜名湖花博
- 吉城高校におけるボランティア説明会
- 吉城高校福祉体験学習4回
- ボランティアフェスティバル（映画『クイール』の上映、チャリティーバザー）
- 在宅介護者のつどい43名参加（久々野町、高山グリーンホテル）
- 秋季高齢者宅火災予防指導（10世帯 神岡町 神岡消防署、北陸電力、北吉城ガス組合協力）
- 春季高齢者宅火災予防指導（16世帯 神岡町 神岡消防署、北陸電力、北吉城ガス組合協力）
- 古川、河合地区防火点検（55世帯 飛騨市消防本部、中部電力の協力）
- 飛騨市健康と福祉のつどい（神岡町公民館～神岡町小中学生意見発表）
- 河合地区保育園児と一人暮らし老人訪問（21世帯）
- 飛騨市福祉のつどい開催（古川町総合会館～古川、河合、宮川地区の小中学生による福祉に関する意見・標語発表、講演会）
- 古川中学校福祉フェスティバル
- 歳末助け合い激励金配布
- 古川西小点字に関する学習会

民生委員・児童委員関係

- 古川地区民児協事務局
- 河合地区民児協事務局
- 宮川地区民児協事務局
- 神岡地区民児協事務局
- 飛騨市民児協事務局

相談事業

- 心配ごと相談 河合地区12回
毎月第水曜日 午後7時から8時30分
- 心配ごと相談 神岡地区24回
毎月第2金曜日 午後6時から8時
第4日曜日 午前10時から正午
- 心配ごと相談 古川地区24回
毎月10日、25日 午前9時から午後3時
- 心配ごと相談 宮川地区12回
毎月第3金曜日 午後1時から4時
- 阪下 六代弁護士による無料法律相談
8回（ハートピア古川4回、神岡町福祉会館3回、河合町保健センター1回）
- 心配ごと相談員研修会及び懇親会
（講師 トータルキャリアネットワーク・ブルー、阪下六代弁護士）



受託事業

- 生きがいデイサービス（神岡地区67回）
- 軽度生活援助ヘルパー事業
（古川地区、神岡地区）
- 一人暮らし高齢者及び老夫婦世帯友愛訪問

視 察

- 鹿児島県栗野町民児協（5月25日）
- 恵那市・恵南地区社協合併協議会（6月7日）
- 新潟県糸魚川市社協合併協議会（6月21日）
- 愛知県田原市民児協（7月8日）
- 富山県立山町地区社協（7月23日）
- 富山県南砺市となる市町村（8月10日）
- 石川県能美郡民児協視察
（10月13日 神岡地区）



平成16年度

飛騨市社会福祉協議会収支決算書

収入の部 175,138,342円

支出の部 175,138,342円

内 訳	金 額
会 費 収 入	11,241,500円
寄 付 金 収 入	5,263,735円
経 常 経 費 補 助 金 収 入	46,035,000円
助 成 金 収 入	319,700円
受 託 金 収 入	6,332,951円
事 業 収 入	28,000円
共 同 募 金 配 分 金 収 入	7,338,634円
負 担 金 収 入	1,483,088円
経 理 区 分 間 繰 入 金 収 入	5,511,149円
受 取 利 息 配 当 金 収 入	177,265円
国 庫 補 助 等 積 立 金 取 崩	857,097円
雑 収 入 他	46,036円
過 年 度 収 支 修 正	220,000円
前 期 繰 越 金	90,284,187円
合 計	175,138,342円

内 訳	金 額
事 業 費 支 出	15,129,740円
事 務 費 支 出	5,042,717円
人 件 費 支 出	36,224,022円
共 同 募 金 配 分 金 事 業 費	4,324,000円
助 成 金 支 出	7,846,877円
負 担 金 支 出	2,289,000円
経 理 区 分 間 繰 入 金 支 出	5,511,149円
積 立 預 金 積 立 支 出	2,954円
減 価 償 却 費	2,832,666円
引 当 金 繰 入	112,337円
次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	95,822,880円
合 計	175,138,342円

貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

借 方		金 額
科 目		
資 産 の 部		
流動資産		100,097,963円
預 貯 金		100,097,963円
未 収 入		0円
固定資産		78,232,267円
①基本財産		4,000,000円
基本財産特定預金		4,000,000円
②その他固定資産		74,232,267円
車 両 運 搬 具		16,260,700円
機 具 及 び 備 品		4,796,657円
減 価 償 却 累 計 額		-16,222,169円
権 利		80,640円
ソ フ ト ウ エ ア		426,834円
投 資 有 価 証 券		40,478,715円
長 期 貸 付 金		310,000円
退 職 共 済 預 け 金		1,645,505円
そ の 他 の 積 立 預 金		26,455,385円
資産の部合計		178,330,230円

借 方		金 額
科 目		
負 債 の 部		
流動負債		6,754,906円
未 払 金		390,804円
未 返 還 金		5,651,449円
預 り 金		712,653円
固定負債		784,710円
退 職 金 給 与 引 当 金		784,710円
負債の部合計		7,539,616円
純 資 産 の 部		
基本金		4,000,000円
基 本 金		4,000,000円
基金		2,982,071円
基 金		2,982,071円
国庫補助金等特別積立		1,051,563円
そ の 他 積 立 金		66,934,100円
次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額		95,822,880円
(内当期活動収支差額)		5,541,647円
純資産の部合計		170,790,614円
負債及び純資産の部合計		178,330,230円

ご寄付いただきありがとうございました

(平成17年5月26日～6月20日受付分)

- ◎奥田 静平 様 (神岡町) 30,000円
- ◎谷 弥志 様 (古川町) 10,000円
- ◎小林 とし 様 (山梨県) 子供服等130着
- ◎吉城グリーン会 代表 辻 哲夫様 80,000円
- ◎奥野 栄一 様 (神岡町) 30,000円
- ◎鎌手彦太郎 様 (古川町) 100,000円



平成17年

災害ボランティア講演会

先日の台風23号による豪雨災害により、飛騨市においては、土砂崩れや住宅浸水などの被害がありました。また、東海地震をはじめ、東南海地震、内陸直下型地震など、県内において大規模災害の発生が危惧されています。

このような災害時のボランティア活動はますます社会的期待が高まっており、緊急時の対応に加え、平常時の防災対策にも寄与すべく、「災害ボランティア」講座を開催いたします。これを機会に災害ボランティアについて学んでみませんか？



災害ボランティア活動…

誰にだってできることは必ずある！

講師

災害相互支援ネットワーク
サポートコムネット

川上哲也先生

- 期 日 平成17年 7月13日(水)
- 時 間 午後7時30分～午後9時00分
- 時 間 古川町総合会館 2階大会議室
(古川町若宮二丁目)

- 略 歴
NPO法人岐阜県災害ボランティアコーディネーター協議会理事長
NPO法人サポートコミュニティ飛騨理事長、薬剤師
- 被災地支援活動：台風6号(2002.7大垣市)新潟豪雨(2004.7見附市)、台風21号(2004.9伊勢市)、台風23号(2004.10)の各災害において、災害ボランティアセンターを設置して支援活動を展開。また、中越地震では物資支援・炊き出しなど広域に対する支援を展開される。

弁護士
による

無料法律相談

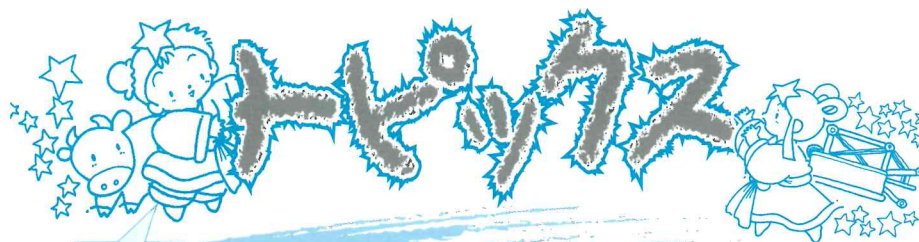
- 期 日 平成17年 7月20日(水) (ハートピア古川)
- 平成17年 8月17日(水) (神岡町福祉会館)
- 平成17年 9月21日(水) (ハートピア古川)
- 時 間 午後1時30分～午後4時30分 (1回あたり6名まで)



相談員 阪下六代 弁護士

- * 希望される期日を電話でお申し込み下さい。相談は無料です。
- * 申し込み順に時間を決定させていただきます。
- * 先着順に受け入れいたします。定員を超えた場合は次の月にお問い合わせすることがあります。

飛騨市社会福祉協議会 TEL0577-73-3214 (担当 円山)



吉城高校福祉体験学習

6月3日と6日の午前、午後に吉城高校の2年生3クラスと1年生の理数科を対象に福祉体験学習を実施されました。家庭科の授業の一環で、高齢社会を理解する事前学習として、柏葉会館を利用して、車椅子体験、高齢者疑似体験をして頂きました。車椅子は、実際自分が骨折をし、使用していたことのある生徒や、中学校のときに体験したことのある生徒もありました。段差や坂道、砂利道での介助の大変さを学んでいただきました。

また、疑似体験では、白内障になると、チラシが見にくくなり、背骨が曲がって、さらに足が不自由だと、階段の上り下りも危険だということを理解していただきました。参加された生徒からは『高齢者になって障害をもつと大変だということが、よく分かりいい体験になりました。』や『これからは、お年寄りや障害者の方が困っていたら手を差し伸べたいと思います』などとの感想が聞かれました。



飛騨市民協 定期総会開催



飛騨市民生委員児童委員協議会(中村守隆会長)では、去る6月1日に、平成17年度の定期総会が開催されました。来賓として船坂市長を始め、市役所、振興事務所の関係者のご臨席のもと総会を行ないました。その後、岐阜県認定音楽療法士の今井貴子先生による音楽療法の紹介では、委員の皆さんがハンドベルなどを「ふるさと」の歌に合わせて鳴らしたりしました。

講演として、落語家 露の 団六(つゆの だんろく)先生による落語と小話を聞き、その後、「兄貴は楽しい? ダウン症」と題して講演をしていただきました。2歳上のお兄さんがダウン症であり、学校を探すために奔走された話しなどをユーモアを交えながら話され、「障害者の方でも少しの周りの手助けがあれば、社会で生活できる人がほとんどなので、民生児童委員として、どんどん関わりを持っていただきたい」と話され、委員の方は「もっと詳しく長い時間、聞きたかったくらいの講演会だった」と話しておられました。

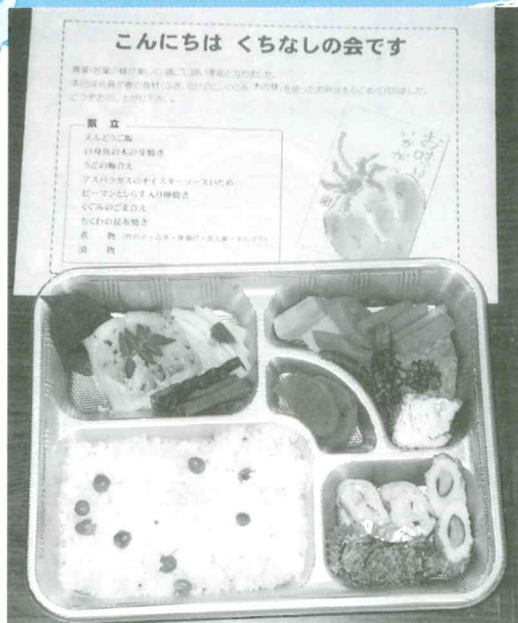
宮川地区給食サービス

5月17日、6月21日には、宮川あじさいの会(坂口富美恵会長)による給食サービスが行われました。旬の素材を使ったメニューで、山菜のてんぷら、うどのごま酢みそ和えなど、山菜料理中心のお弁当でした。

また、6月22日には、南吉城調理師会(池田高佳会長)による給食サービスが行われました。いずれも、配達は、民生委員の方、ボランティアの方に行なっていただきました。



古川地区給食サービス



去る、5月27日、6月16日くちなしの会（圓山禎子会長）、6月11日には栄養士会（船坂裕子会長）、6月23日、飛まわり会（野口小夜子会長）による給食サービスが行われました。できたお弁当は、配食ボランティアのランチボックス（川上菖会長）に配達をしていただきました。

給食サービスは、70歳以上の一人暮らしのお年寄りや高齢者夫婦の方のうち希望される方を対象に実施しておりますが、今年度は約170名の方に、月に1回から2回程度のボランティアによる給食をお届けし、利用された方には大変喜ばれております。旬の素材を使っての色とりどりのお弁当なので、給食サービスの日を毎回楽しみにされているようで、配達ボランティアをされている方は、「いつもありがとう。とお年よりに言われうれしくなります。」と話されました。

神岡地区給食サービス

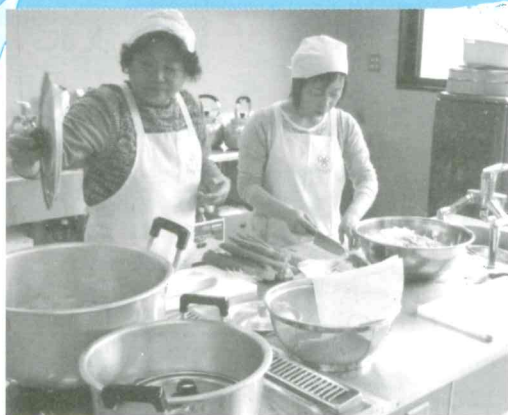
神岡地区のお弁当配達は、昭和63年から始まりました。調理にあたるのはボランティア団体の「なずな会」です。

保温式のランチジャーに（又はおりづめ）、旬の素材を使って作られたお弁当は、配達ボランティアの方々によって週1回、65歳以上の一人暮らしの方や、70歳以上の援護が必要な方々に（民生委員さんをとおして申請）配られます。

今年は、新たに、西戌会さんに配達ボランティアとして登録していただきました。一人暮らしの高齢者の方々の喜ぶ笑顔がいつまでも続くように、この伝統ある給食ボランティアを大切にしていきたいものです。



河合地区給食サービス



去る、5月24日と6月24日、河合町飛まわり会（板屋昌子会長）による給食サービスが行われました。メニューは、鶏挽き肉と豆腐のミートローフ、里芋と玉葱のカレー煮などの献立でした。

また、6月22日には、南古城調理師会（池田高佳会長）による給食サービスが行われました。調理を仕事とされている方らしく、手の込んだ豪華なお弁当でした。配達は、いずれも、民生委員の方と、配食ボランティアの方に行なっていただき、「お年寄りの方が、いつもありがとうと、喜んでくれるのでうれしい」と話しておられました。



飛騨市社会福祉協議会会費にご協力をお願いします

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる
福祉のまちづくりを目指して



社会福祉協議会の職員の人件費等は、県や市からの補助金で運営されています。

福祉事業につきましては、皆様からの会費や寄付金、共同募金によって運営されており、社会福祉協議会を運営する上で大切な財源となっています。

飛騨市社会福祉協議会の会費を募集させていただきますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

各区の区長や町内会を通じて会費の協力をお願いしています。また、各会社や法人の皆様にも特別会員としてのご協力をお願いします。それ以外にも、皆様からの善意を寄付金として総合会館内の社会福祉協議会事務局でも受け付けていますので、ご協力をお願いします。

皆様からお寄せいただきました会費は、在宅福祉サービスの提供や、児童・生徒の福祉教育の推進、ボランティア活動の振興、心配ごと相談などの福祉活動や調査・広報活動に活用されます。

皆様の温かいご協力をお願い致します。



編集後記

飛騨市社会福祉協議会も合併後、二年目に入り三ヶ月が経過しました。

今年度も福祉サービスの充実のため、会費の募集をさせていただきます。

皆様から寄せていただきます貴重な会費を有効に活用できるよう努力致しますので皆様のご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

先日の飛騨市民児協の設立総会において露の団六先生が『兄貴は楽しい? 障害者』と題して、講演会をされました。ダウン症のお兄さんの典生さんに対して苦労されたお母様の話をユーモア交りに話されましたが、『周りの方が理解して、少しだけでもかわりを持つことで障害者が社会に参加できるので、どんな関係っていただきたい』という言葉が印象的でした。

吉城高校の家庭科での「高齢者について」の授業で二時間の学習に協力させていただきました。「介護の方面に進みたい」と話していた生徒は特に、真剣な表情で取り組んでいました。今後の人生の中でこの体験を少しでも生かしていただきたいと思います。

